

一般財団法人 花山宇宙文化財団とは

花山天文台は、1929年の設立以来、日本の天文学研究の拠点として各方面にわたり多大な成果を生むとともに、日本のアマチュア天文学界の発展にも大いに貢献してきました。今後は、研究用の天体観測所から、子どもや市民の教育学習施設への転換をはじめ、有人宇宙学の開拓拠点や産業振興の拠点としての活用が期待されています。

「一般財団法人 花山宇宙文化財団」は、花山天文台を永く将来にわたって存続させ活用していくために、京都大学と連携してさまざまな事業を行うことを目的として設立された財団です。また、財団の会員組織として「京都花山天文台の将来を考える会」があります。具体的な活動として、将来構想の策定、花山天文台における見学会・観望会支援、講演会や会員親睦会などの開催を行っていきます。



一般財団法人 花山宇宙文化財団 構成 (2025年4月)

- ◆設立者 多田野宏一 (株)タダノ 代表取締役会長
- ◆評議員 尾池 和夫 元 京都大学総長
佐藤 文隆 京都大学名誉教授
多田野宏一 (株)タダノ 代表取締役会長
長田 哲也 京都大学名誉教授
野口 範子 同志社大学教授
藤原 洋 (株)ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長 CEO
松本 紘 (公財) 国際高等研究所所長、元 京都大学総長
村山 昇作 (一社) 天体望遠鏡博物館 代表理事
冷泉 為人 (公財) 冷泉家時雨亭文庫 理事長
- ◆理事長 (代表理事) 柴田 一成 京都大学名誉教授、同志社大学客員教授、元 京都大学大学院理学研究科附属天文台長
- ◆常務理事 (業務執行理事) 北川 聡一 (株)文化工学研究所 専務取締役
- ◆理事 岡村 勝 (株)ヒーロー 代表取締役
荻野 司 合同会社 ゼロワン研究所 代表
富田 晃彦 和歌山大学 教授
西 亨 (株)阪南コーポレーション 顧問
野上 大作 京都大学 准教授
松田 和典 M・G マーケティング研究所 所長
- ◆監事 向井 苑生 京都情報大学院大学 教授
吉田 晴夫 元 住友銀行四国法人部 次長
- ◆事務局長 石井 貴子 京都大学 研究員

連絡先 (メールアドレス info@kwasan.kyoto)
〒606-8305 京都市左京区吉田河原町 14 京都技術科学センター B22
〒607-8471 京都市山科区北花山大峰町 京都大学花山天文台内

京都花山天文台の将来を考える会 入会のご案内
お申し込みはホームページ (http://kwasan.kyoto)、または郵送で受け付け。
詳細はホームページをご覧ください。

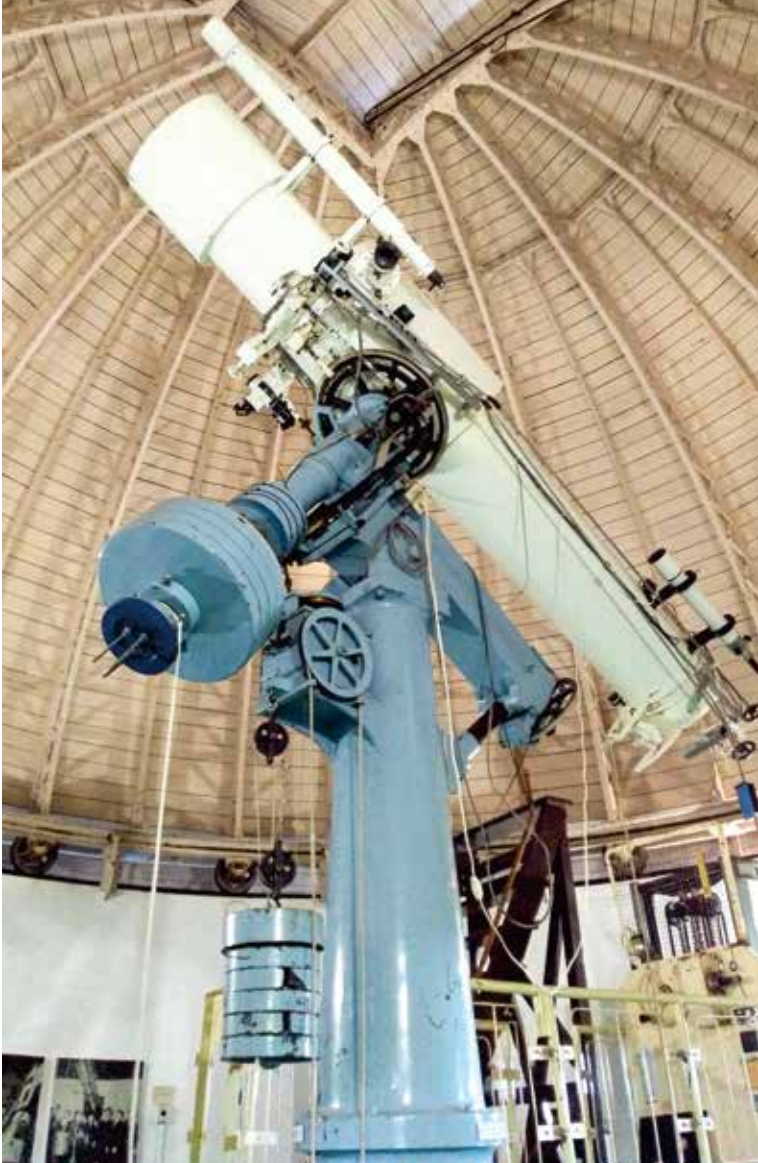
入会費用
(一般会員) 1口 3,000円
(賛助会員) 1口 30,000円
(法人賛助会員) 1口 50,000円



Design by KADOYA Kazuyoshi 2025年6月発行

Kwasan Astro-Culture Foundation

一般財団法人 花山宇宙文化財団
設立 2019年4月1日



花山天文台本館ドーム内 45cm屈折望遠鏡

花山宇宙文化財団には2つの将来構想があります。

短期的目標：1～3年での実現を目指します。

1. 現状で年間30日程度受け入れている小中高校見学・実習を毎日受け入れ可能な体制を実現します。特に、京都大学、京都市および京都府教育委員会と連携して、京都の児童生徒や学校教員が一度は花山天文台を訪れることができるようになることをめざします。
2. 一般向けの天体観望会や講演会、大学や企業関係者の勉強会やワークショップ、音楽コンサート・展覧会・アーティストインレジデンスなどの芸術・文化系イベントなどを開催します。
3. インターネットやSNSを活用して多言語による発信を行い、海外からを含む観光客を東山・山科地区に引きつける新たな魅力となることをめざします。
4. 上記の目標を達成するために、**歴史資料館・講義室**(歴史資料館は山本一清初代台長の資料などを保管・展示、講義室は100人収容可能な広さ)を建設します。

長期的目標：4～10年での実現を考えています。

1. 4次元デジタル宇宙シアターやプラネタリウムの投影ができるドームを備えた**宇宙科学館**(天地人ミュージアム〈案〉)の設置を目指します。最先端の研究成果や宇宙・地球にまつわる歴史・文化を解説した展示、サイエンスアートの展示や若手アーティストの作品発表などができるギャラリースペース、宇宙・地球や科学の本を閲覧できる図書スペースなどの配置を考えています。
2. 花山天文台の文化とも融合できるような、先端的ものづくりをテーマにした**インキュベーションセンター**の設立を計画しています。ものづくりを中心とした企業の展示スペースとベンチャー企業が入居し、来館者が実際の研究開発の現場を見ることができるオープンラボの設置を計画しています。
3. 星空観察会や野外コンサートなどの各種イベントが開催できる**多目的広場**の設置も考えています。星空観察会のほか、花山天文台の自然豊かな立地条件を活かした自然に親しむ教育啓発活動を行います。

「花山宇宙文化財団」は、花山天文台の存続・活用を目的とした資金を得るために、「金曜天文講話」「観望会」「講演会」やオンラインセミナーなどのさまざまなイベントを各種団体と協力して開催しています。



金曜天文講話（キャンパスプラザ京都）



山崎直子宇宙飛行士講演会



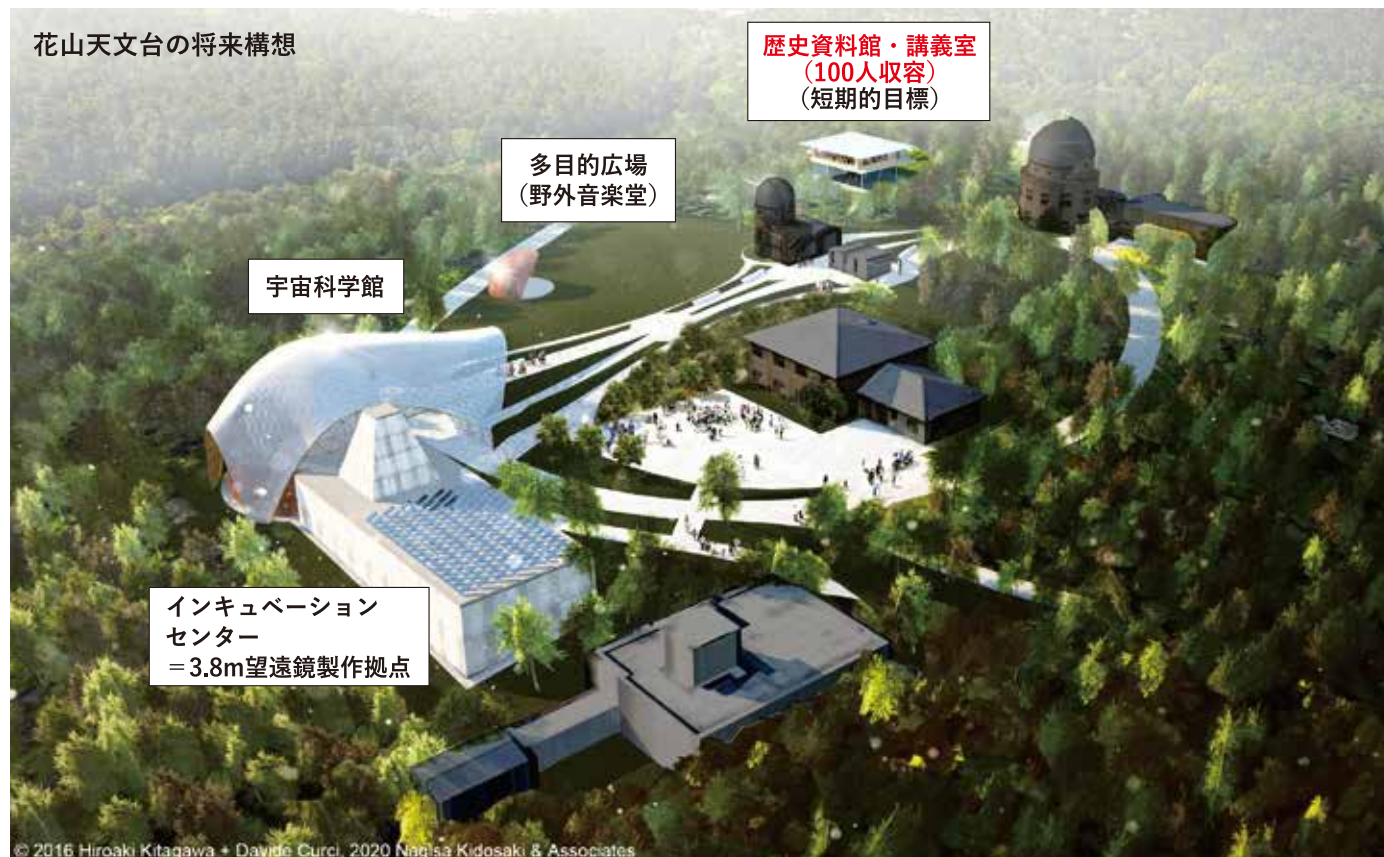
観望会（花山天文台・本館）



京都市小学校見学会（花山天文台・太陽館）



喜多郎野外コンサート（花山天文台）



© 2016 Hiroaki Kitagawa + Davide Curci, 2020 Nagisa Kidosaki & Associates



火星大接近天体観望会（京大吉田南グラウンド）